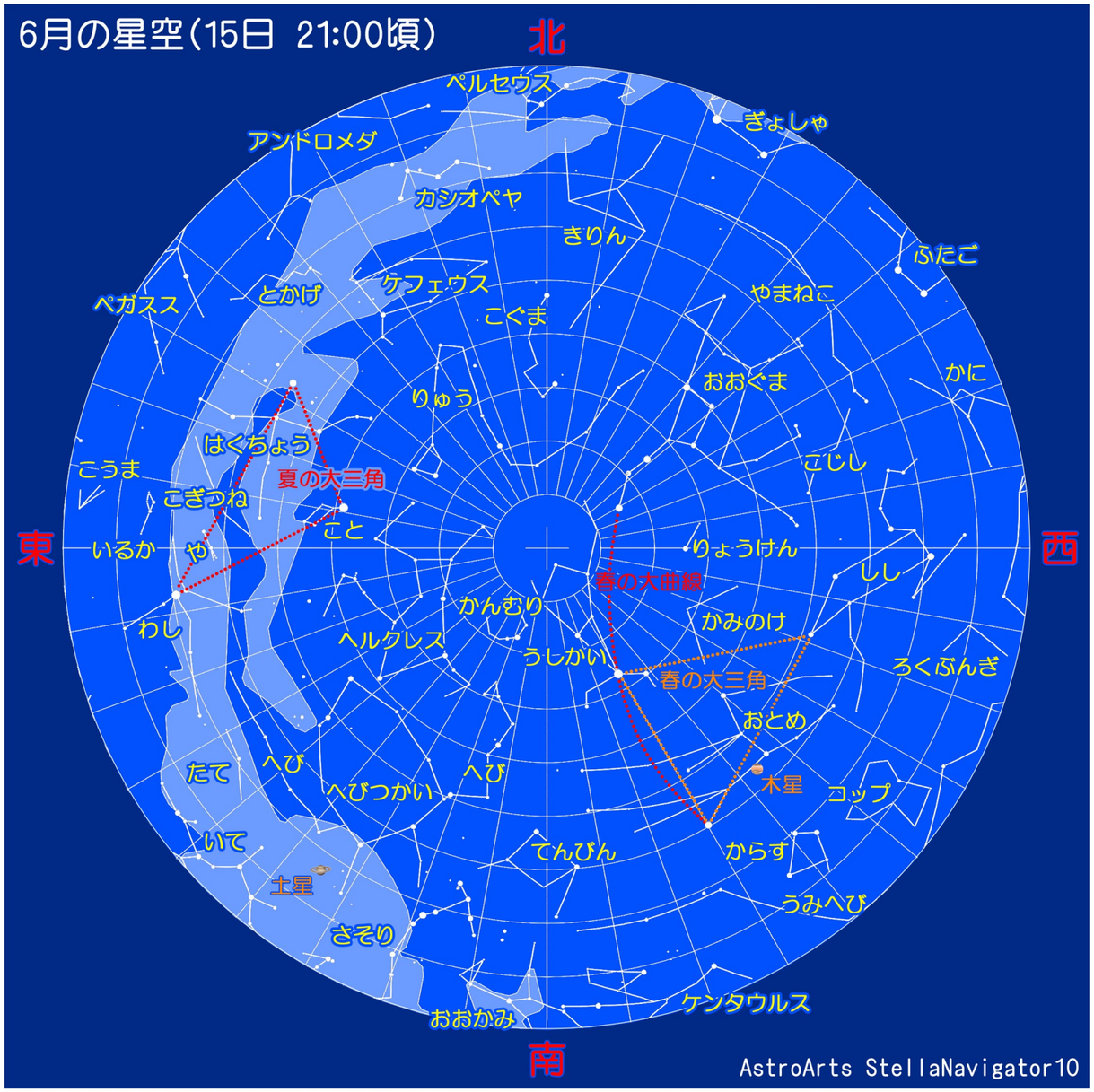
銀河の森天文台
2017年6月のみどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M13

北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。数十万個もの星々が集まっていて、望遠鏡では中心部まで星が密集した様子や、枝のような星の並びを観察することができます。

また、1974年には地球外生命探査として、プエルトリコのアレシボ電波望遠鏡からM13へ向けてメッセージが送られました。

距離：約2万5100光年

M13

月

		出	没
1日	◐上弦	10:34	--:--
9日	○満月	18:29	03:45
17日	◑下弦	23:50	10:54
24日	●新月	03:50	19:05

天文台から月を見ることができるのは1～11日頃と28～30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

木星

太陽系最大の惑星で、直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。

大赤斑と呼ばれる赤い楕円形の模様や、ガリレオ衛星と呼ばれる明るい4個の衛星が特徴的です。

太陽からの距離：約7億7800万km

土星

見事な環を持つことでおなじみの土星が見頃です。

今年は環が開いて見えていることから、カッシーニの空隙が観察しやすくなっています。土星の高度が上がる、閉館間際の時間がオススメです。

太陽からの距離：約14億3000万km

M3（球状星団）

明るい見事な球状星団で、うしかい座のアルクトゥールスとりょうけん座のコル・カロリの中間あたりに位置しています。密集度が高いために、双眼鏡では恒星と区別がつきにくいかもしれません。

距離：約3万3900光年

M51（銀河）

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河（NGC5195）を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。月明りのない夜には2つの銀河が実際につながている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M57（惑星状星雲）

リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように、環の形に見える星雲です。これは、恒星が一生を終えようとするときに放出したガスが光っているものです。

距離：約2600光年

ヘルクレス座α星（重星）

ヘルクレス座の頭に位置する重星で、主星にはラスアルゲティという固有名がついています。

赤色の3.5等星と黄色の5.3等星のペアですが、赤色の主星により、伴星は緑や青色に感じられます。

距離：約359光年

ちょっとマニア

・超新星2017eaw（銀河）

NGC6946に発見された超新星で、今年発見された中では一番明るい超新星です。発見時の明るさは12.8等で、13等よりも明るい超新星は2014年以来となります。

距離：約2250万光年

その他おすすめ

- M5（球状星団）
- M12（球状星団）
- M92（球状星団）
- アルクトゥールス（恒星）
- はくちょう座β星（重星）（アルビレオ）
- ダブルダブルスター（重星）

6・7月の銀河の森天文台カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

開館時間

14:00～22:30（4月～9月）

13:00～21:30（10月～3月）

休館日